



第11回西城フォトコンテスト 受賞作品展

11月12日(日)西城自治振興センターで第11回西城フォトコンテストの表彰式が行われました。受賞者は次のとおりです。

- 最優秀賞 田上 壽典さん 「秋空の中を！」
- 住民選考特別賞 土井 正司さん 「赤く染まる池の段」
- 道後山賞 大原 元治さん 「つかの間の冬を楽しむ エイツ」
- 子ども部門最優秀賞 鑄鍋 和希さん 「親子旅」

その他29作品が受賞しました。

受賞作品は西城自治振興センターのロビーで12月28日(木)まで展示しています。素晴らしい作品ばかりです。是非、ご覧ください。



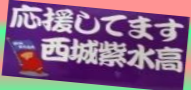
陶芸倶楽部

生涯学習自主運営教室の紹介

陶芸倶楽部は毎週木曜日に西城町高齢者創作活動センターで実施しています。陶芸窯は1995(平成7)年9月29日から使用開始。創作活動に励んでいます。現在の部員は11名。ときにはお茶を飲みながらお話しに花が咲き、一日が過ぎることもあります。楽しい時間を過ごすことで元気になります。鉄道コレクション特別展示会にも出展しました。



西城紫水高校プロジェクト 会議報告(11月28日開催)



西城地域は、国や県の機関である保健所や登記所の移転、民間企業では広銀などの撤退、そしてJAの統合、さらに町役場は市町村合併など、その度に人口減少は大きく進みました。加えて、今また紫水高校が無くなれば、更なる地域の疲弊に追い打ちをかけることとなり、非常に危機感を覚えます。

町内には農業、林業、建設業、医療、介護などの産業・事業所がありますが、いずれも人手不足・後継者不足が続いており、今後の地域の存亡にかかるわる事態となっていることなど、現状の報告をしました。

県教委の新しい統廃合基本計画案では、「複数の専門学科からなる総合型高校について検討する方向性を示している」ことから、生徒数の増減に縛られず、地元に必要な人材を育成する高校として、仮称「地域普通科」というコースの設置を、基本計画の中に入れるよう強く求めました。

さらに、広島県と庄原市には、芸備線の存続と紫水高校の存続は切り離すことはできず、一体のものであり、このことをしっかり認識して、芸備線も紫水高校も併せて存続できるように取り組みを進めることを要望しました。

今後は、プロジェクト会議と県教委の協議だけではなく、庄原市と一緒に行動がますます重要と考えます。西城の皆さん、是非関心を持ってください。そして一緒に進みましょう。

オレンジジャンパーの寄贈



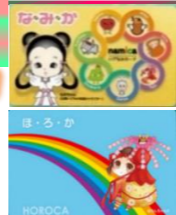
11月24日(金)に広島市在住(八鳥出身) 藤原 義正様からオレンジ色のイベントジャンパー73着、寄贈されました。西城自治振興区のイベントなどの行事に使用いたします。ありがとうございます。

なみか・ほろかカードで1ポイント

来館だけでも!

西城自治振興センターで「なみかカード・ほろかカード」で1ポイント付与されます。

(1日1回限り、令和6(2024)年3月31日まで)



西城自治振興センター一年末年始のお知らせ

西城自治振興センターは年末年始、次の期間休館です。

令和5(2023)年12月29日(金)から

令和6(2024)年1月4日(木)まで

よいお年をお迎えください!

西城自治振興区だより 2023.12.20(水) Vol.138

西城まちづくり便

☎729-5722 広島県庄原市西城町大佐734
TEL/FAX:0824-82-2175
<https://sites.google.com/view/sajoutyoukankoukyoukai>



ヒバゴンのまち 自然豊かな広島県庄原市西城町の様々な情報をお届けします♪



西城町観光協会とタイアップした情報サイトです
地域の情報などを発信します

*こちらからお入りください

平子自治会事業の紹介



平子自治会花壇植栽

12月3日(日)8時から1時間半かけて、平子自治会の花壇に、ピオラの植栽を行いました。きれいな里づくり部が中心となって、11名の会員で行いました。枯れたサルビアとマルチを処分し、肥料をまいて耕し、新しいマルチを敷いてピオラを植えました。これから、来年の春まで、きれいな花に癒される花壇となりました。皆さん、車を止めて見てくださいね。



平子自治会グラウンドゴルフ大会



11月12日(日)西城小学校グラウンドで平子自治会楽しい地域部の主催によるグラウンドゴルフ大会を開催しました。

当日は、少し肌寒い中でのプレーとなりましたが、参加者26名で皆さん楽しくプレーされていました。結果は2ゲームを行い、優勝が主田重登さん(36点)、2位が石堂敏行さん、(44点)3位が兼藤繁弘さん(44点)でした。楽しい地域部の今後の活動は、来年2月にボウリング大会を計画しています。



健康と長寿のお祝いを届けました!

平子自治会・あんしん福祉部では、例年11月に敬老会を開催していましたが、健康と安全を優先し、止む無く今年度の開催を中止しました。

集合しての敬老会の代わりに、健康と長寿のお祝いとして、75歳以上の会員へ記念品をお届けしました。来年こそは、地域みんなで集まって、敬老会を開催し、長寿のお祝いをしたいと考えています。

平子自治会事務局より



栗・平子夢ひろば

栗と平子の自治会が共同でデイホーム事業「栗平子ゆめひろば」を開催しました。20年以上続いている。11月19日(日)の開催は、243回目でした。今回は利用者さんとスタッフ合計26名の参加者。午前中は健康チェックや誕生日会、シルバーリハビリ体操。手作りの昼食をはさんで、午後はフルートとピアノの演奏で楽しみました。最高齢は99歳!いつもでも、元気で集いたいものです。



夢ひろば事務局より

栗自治会敬老会

11月12日(日)西城ふれあいセンターで栗自治会敬老会が開催されました。自治会長のあいさつで始まり、傘寿(80歳)を迎えた方に記念品の贈呈がありました。



栗地区 敬老会



瀬尾和子さんのどじょう踊りや神楽を鑑賞しました。昼食を取りながら、話に花が咲いていました。

～地区防災計画策定に向けて～



総務広報部会

11月7日(火)西城自治振興センターで庄原市危機管理課から講師を迎え、各自治会から参加者36人で地区防災計画策定のための学習会を開催した。地区防災計画とは、一定の地域に居住する住民が、自分達の地域の人名、財産を守るための助け合い(共助)について、自発的に策定した防災活動計画です。現状は避難所開設の連絡が来ても、自治会での具体的対応方法がわからない事が問題だった。自治振興区でのマニュアル作成は範囲が広く、各自治会の地理や気象条件が大きく違うため、各自治会でマニュアルを策定する事になった。講師から「防災マップは斜線の色が赤いほど危険箇所である」、「警戒レベル3、高齢者等避難(市が発令)の際、対応できるように地区防災計画を策定してほしい」などの説明があった。「各自治会でゆっくり吟味して、地区防災計画策定をしてほしい」との事でした。

今なぜ地域包括ケアなのでしょう？！

11月24日(金)西城自治振興センターで環境福祉部主催の研修会を開催した。講師に庄原市社会福祉協議会 会長 上田正之 様を迎え、今なぜ地域包括ケアなのでしょう？！「地域だからできること 地域でなければできないことを共に考えよう」をテーマに講話があった。「自分さえよければいい」「他人の事を気に掛けるなんて勘弁してほしい」「助け合い(お互いさま)などに関わるつもりはない」「行政や専門職が頑張ればいい」「わしらは忙しいんよ・・・」との声が社会福祉協議会で聞かされる。色々な困り事は、お互いさまで、出来る事と出来ない事がある。本人のしあわせ、自分らしい生き方のため、本人がどこでどう暮らすか決める(自助)。声掛けやちょっとした生活支援をする(互助)。医療・介護・保健などの専門職(共助・公助)。地域包括ケアとは地域のみんなでお互いの暮らしを支え合い、本人のしあわせの花が咲くこと。そのためには、

自立感を変える。依存しないことが自立ではなく、依存先が多くそれぞれの依存度が浅いことが自立になる。元気な時から人つながり(頼んだり頼まれたり)のお互いさまの関係づくりを強く意識する。自治会や常会の様々な活動とお互いがつながる事が助け合い活動のミスマッチの差を縮める。活動の大前提は自分(たち)が出来る事でやりたい事、一歩踏み出す具体的な行動(力)が重要との内容でした。次回は12月19日(火)に具体的な実践事例についての講話です。



環境福祉部会

令和5年度 庄原市議会市民と語る会

活発な意見交換！

令和5年度庄原市議会市民と語る会が11月14日(火)西城自治振興センターで開催しました。庄原市議会から吉川達也議員、赤木忠徳議員、谷口隆明議員、徳永泰臣議員、國利知史議員5名と自治会代表者、一般の市民の方31名が参加しました。テーマは西城自治振興区役員会で決まった西城紫水高校存続問題を中心に、西城市民病院建て替え問題、JR芸備線存続問題について。西城紫水高校に特色が必要との意見が出され、「単位制の高校にすればよいのでは」、「寮があることを活用すればよいのでは」などの意見が出されました。あと、「コンパクトシティを考え、三つの問題に盛り込めばよいのでは」との意見もありました。今回の「語る会」に出席した議員も参加した市民も、地元から西城紫水高校が無くなる事はJR芸備線も無くなる事、やがては西城市民病院も無くなるとの危機感を共有していました。2時間を超える活発な意見交換でした。

火災想定消火・通報・避難訓練の実施

火の用心！

秋の火災予防運動期間(11月9日(木)～15日(水))の初日、西城自治振興センターで庄原市役所西城支所と合同で消防訓練が行われました。2階湯わかし室から出火を想定し、避難に遅れた人が正面玄関ヒサシの上にいる設定で救助訓練と放水訓練と合わせて行われました。



訓練が終了して庄原消防署員から「火災が発生し、消火器で消火中、炎の大きさが頭の高さを超えるようなら、すぐに逃げてほしい。119番に連絡して、消防車が到着するまで時間がかかります。それまでに避難が終了出来るようにして下さい」とのことでした。その後、訓練参加者が水消火器を使用して消火訓練を行いました。「消火器に記載してある使用方法をよく読んで使用すること。消火器はピンを抜かず火元まで持ち運ぶ事。消火器を使用する際は後方に逃げ道を確認すること」などの指導がありました。

2023年全国統一防火標語「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

今年も西城新そば祭りが開催されました！！

主催：西城町観光協会(芸備線・木次線利用促進協議会西城チーム)

地域マネージャー活躍中



11月12日、備後西城駅にて西城そば生産組合さんによる新そば350食が振る舞われました。また西城中学校野菜販売会や西城小学校マルシェなど地域の特産物が販売され、秋の味覚を楽しむ一日となりました(^o^)



長谷川地域M



清水地域M



駅前ひろばには

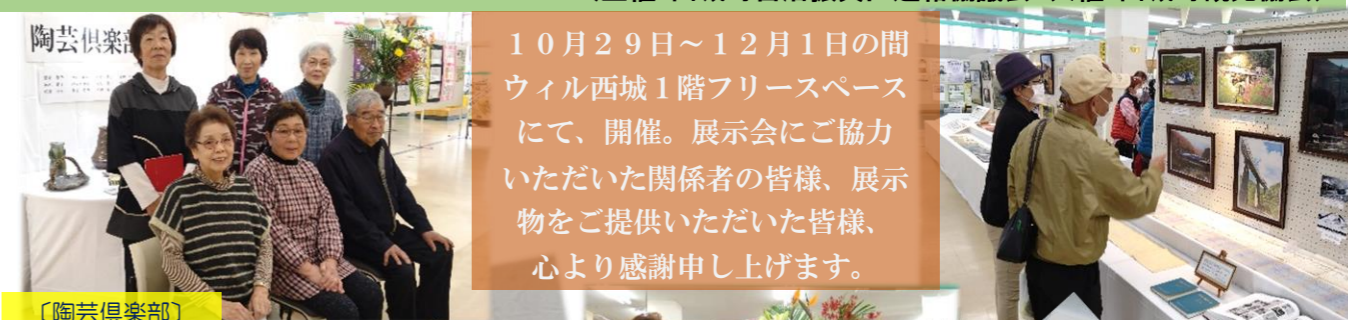
焼き芋、おこわ、イベントでは、西城中



学校ブラスバンド部や地元バンドの演奏、そして祭りを締めくくる神楽公演には、紫水高生も出演し、会場は大いに盛り上がりました。来場された方は「芸備線に乗ってまた食べに来ます！」と西城の“食&芸”を満喫されていました。

鉄道コレクション特別展示会ご来場ありがとうございました！！

(主催：西城町自治振興区連絡協議会 共催：西城町観光協会)



10月29日～12月1日の間ウィル西城1階フリースペースにて、開催。展示会にご協力いただいた関係者の皆様、展示物をご提供いただいた皆様、心より感謝申し上げます。

〔陶芸倶楽部〕



協力展示

〔八銚絵手紙教室〕



〔いけばな小原流 竹島豊信社中〕